

# 令和3年度各会計決算 に対する各会派等の

# 意見表(要旨)

## 公明党

令和3年度一般会計・3特別会計決算の認定に賛成。以下は、事業別意見と要望。  
 ●SDGs未来都市における企業連携と人中心のまちづくりを。  
 ●セーフコミュニティへの若い世代の取込み  
 ●防犯カメラ設置補助の計画的な予算確保  
 ●戸籍証明をコンビニ交付に追加  
 ●おみやみコーナーのよりの確かなサポート  
 ●としまる体操、フレイル健診等の更なる充実  
 ●断らない相談体制の充実で地域共生社会の構築を。  
 ●プラスチック資源回収は、区民に分かりやすい排出動画の作成を。  
 ●マシオン施策は、居住者の認知症への対応と管理組合理事長職の価値の向上を。  
 ●子どもの権利推進事業は、救済機関を設けて子供の権利保障の支援を。  
 ●認可保育所における紙おむつのサブスクの導入  
 ●子どもスキップの報酬見直し、SSサポーターの増員、一般需用費の増額  
 ●インクルーシブ教育システムの構築  
 ●児童生徒の目の健康予防、体力・運動能力の向上、コロナ禍における心のケアへの取組  
 ●ふるさと納税は、区民税への影響から産業振興の観点で積極的な活用を。

## 都民ファーストの会・民主

令和3年度一般会計・3特別会計決算の認定に賛成。100周年に向け持続発展都市として更なる飛躍を期待できる堅実な決算であり評価以下、款別意見と要望。  
 ●救援センターでは敷地内にマンホールトイレを設置する対応を。新型コロナウイルス対策では分かりやすいワクチン接種情報の発信を。ゆりかご面接や、こんにちは赤ちゃん事業では、より参加しやすい方策の検討を。産後ケア事業では区内での受け入れ態勢の整備を。小児・AYA世代のがん対策では知識や検診の啓発を。池袋の都市再生では地元と連携し人間中心のウォークアブルなまちづくりの推進を。大塚駅周辺では地域の声が反映された地域活性化を。補助172号線の整備では区民の生活再建や商店街再生に向けたきめ細やかな対応を。食品ロス削減対策では民間との連携を深め対策を。プレミアム付商品券など今後も商店街振興に力点を。ソメイヨシノプロジェクトでは引き続き地域と連携しブランド化を。学校におけるICT機器等は、当面改築予定がない既存校にも改築校と同様の配備を。

## 自民党豊島区議団

令和3年度一般会計及び3特別会計歳入歳出決算の認定に賛成する。  
 ●本決算は過去2番目の決算規模となったが、主要基金への積立を行い、施設更新に備えていることなどから、健全性の保たれた決算であると評価している。  
 ●個別に意見を述べる。防災士の資格取得助成については、より多くの人が対象となるよう検討を。ペット同行避難は自助の啓発に向けた取組を。町会活動の負担軽減のため、更なるSNS活用の検討を。民間喫煙所整備促進のため設置後のコスト助成の検討を。巣鴨地蔵通りの無電柱化工事の完成に向けた取組の推進。イケバスについては、池袋西口再開発に合わせたルート拡大、運行枠の拡大などの検討を。商店街プレミアム付商品券事業の補助上限額の見直しを。保育事業に係るDX推進により、保護者の利便性の向上を。  
 ●原油価格や物価の高騰など、景気動向を注視し、慎重な財政運営を心掛ける一方で、価値あるまちづくりへの投資とともに、区有施設改築・補修等をしつかり実施することを要望する。

## 日本共産党

2021年度一般会計決算並びに3特別会計決算の認定に次の理由で反対。  
 ●第一にコロナ禍のもと区民の命と暮らしを支えるためにやるべきことをやっていない。新型コロナウイルス対策としてパルスオキシメーターの事前配付が必要。厳しい状況にある中小企業へ家賃補助をすべき。公衆浴場を支える抜本的対策を。住宅対策として誰もが使いやすい家賃補助制度が必要。小中学校の給食費無償化を。物価高騰に伴った生活保護利用者への独自加算を。補聴器購入補助の大幅拡大を。全救援センター内にマンホールトイレ等の設備の設置が必要。昨年までの職員削減計画は大きな問題。  
 ●第二に区民不在、不要不急の無駄な事業を進めている。5か所の市街地再開発等のうち3か所だけで57億円。開発近隣地区へは区民無視の対応。イケバスには多額の税金を投入しているが、不具合により東西ルートは運休中で再開の見通しは立っていない。  
 ●保険料等が負担増となる国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険の3特別会計も認められない。

## 無所属の会

令和3年度一般会計及び3特別会計歳入歳出決算の認定に賛成する。  
 ●堅調な数値が示されたが、特別区民税の対前年度比3億円の減の背景には、新型コロナウイルス感染症の影響。区民生活に大きなダメージも。厳しい生活を強いられる人々たちへの対応と更なる課題が、来年度予算に直結するものか確認しながら質疑を行った。  
 ●カスターマーハラスメントの実態を把握し、職員のメンタルヘルスケアを。介護予防・日常生活支援総合事業において、利用者・家族・介護者が安心して生活できる介護環境の継続を。地域猫活動について、個人ボランティアへも地域猫協議会と同等の支援を。餌やりの取組を周知し、区民への理解促進を。来街者や区民が環境美化を感じられるまちづくりのため、ポイ捨てパトロールや喫煙所の整備による路上喫煙対策を。ひとり親家庭等の子供に対する学習支援において、家庭環境に左右されない施策の充実を。職員は大切な人材。より良い職場環境の整備のために職員確保、増員を。

## 立憲民主

令和3年度一般会計及び3特別会計歳入歳出決算の認定に賛成する。  
 ●職員へは実効性の高いリーダーシップ開発の実施、メンタルヘルスケアではハラスメント防止の周知徹底を。若い世代やSNSでつながる人材が区政に参画可能な事業展開を。認知症チェックプログラムを更に周知し、早期でのケア開始を。西巣鴨体育場跡地に建設予定の特別養護老人ホームは区初の介護医療院を。啓開道路である染井通りは無電柱化の実現を。擁壁改修は補助を広げ、上限に配慮を。表現の現場でのパワハラ・セクハラに独自の取組を。保育現場への機器導入で機械に頼り切らないよう周知徹底を。区立保育所が地域の子育て支援拠点となり、私立保育所との学び合いと保育の質の向上を望む。西巣鴨体育場施設建設時は代替地の配慮、総合体育場では夢のある取組を。インクルーシブ教育システム実現のため、特別な配慮ができる教員等の採用・育成を。  
 ●文化を基軸にしたまちづくりを横串に展開すること、様々な施策に本区らしさが輝くと信じている。

## 立憲としま

決算審査に当たっては、声を上げたたくも上げることのできない人、声を上げても届かない人の立場に重点を置き、決算の数字には表れてこない人への支援についで区がどのように向き合っていくのかという観点で審議を進めた。  
 ●事業ごとに要望等を述べる。防災関連事業について、ペット同行避難マニュアルの作成を。女性の生涯にわたる健康づくり推進について、更年期に対する理解促進と普及啓発の充実を。空き家活用について、ひとり親世帯等のシェアハウスの完成を。学校徴収金に含まれない保護者負担費用について、公費化への取組を。  
 ●令和3年度決算については28億円の貯金超過であったことは一定の評価をする。が、今後の区財政の見通しは難しいものである。区民一人一人の生活がひっ迫する中、区には果敢な事業の見直しと、適切な財政運営をしていただきたい。  
 ●誰一人取り残さない豊島区であることを念頭に、今後の予算編成、執行につながることを期待し、令和3年度一般会計、3特別会計決算の認定に賛成する。